

平成24年3月30日

各 位

株式会社 三井住友銀行

三和ホールディングス株式会社の「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、三和ホールディングス株式会社（代表取締役社長：高山 俊隆）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じて社会的責任を果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、三和ホールディングス株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境ビジネスと環境コミュニケーション」「環境保全対策の取組みの状況」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境取組みを実施されているとの評価となりました。

特に、①環境ビジネスにおいて、環境配慮型の製品開発を加速させ、平成23年度には『フロント組込型LEDサイン「EcoLEDa（エコレダ）」』や『電気自動車充電用コンセント付きサンゲート』などの、特徴的な製品を開発されている点、②物流の環境負荷低減に向け、東日本の工場において、地理的条件を活かしたモーダルシフトを導入されている点、③歩留まり向上を目指し、原材料入荷形態の見直しなどにより、廃棄物の発生抑制に取り組まれている点等が高く評価されました。

なお、三和ホールディングス株式会社の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」の買受けは、昨年に引き続き2回目であり、前回の評価結果を受け、更なる改善や新たな環境取組みの推進をされています。

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



「EcoLEDa（エコレダ）」  
昭和フロントが発売しているフロント組込型LEDサイン「EcoLEDa」は、ファサードを魅力的に彩りながら、高省エネ効果を実現することができます。



「電気自動車充電用コンセント付サンゲート」  
戸建住宅用シャッターゲートの柱内に、温室効果ガス排出量の削減に貢献する、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電用屋外コンセントを組み込んだ商品です。

以 上